山口県内経済の動き

山口県内景気は、一部で足踏みがみられるものの、総じて緩やかに回復している

現 状

住宅建築や公共工事は全体として弱めの動きとなり、観光は持ち直しの動きが一服。輸出額や生産は全体としては横ばい圏内の動きとなり、個人消費は百貨店・スーパー販売額は２ヶ月連続で前年比マイナスとなるが全体としては着実に持ち直しており、実質賃金も前年比プラス。設備投資は増加傾向にあるなど、県内景気は一部で足踏みがみられるが総じて緩やかに回復している。

先行き

昨今の物価上昇に伴う企業収益や消費行動への影響に加え、中東情勢の不安定化による原油高等の経済的影響を注視する必要があるものの、企業収益の先行きは不透明であるため、天気マークは「曇」のままとした。

	景況判断		コメント
		方向	
雇用情勢			有効求人倍率は３ヶ月連続で 1.3 倍未満（７月）、実質賃金は７ヶ月連続で前年比プラスとなる（６月）。
個人消費			百貨店･スーパー販売額は２ヶ月連続で前年を下回るも、全体としては着実に持ち直し（７月）。
観　光			主要観光施設の利用者・宿泊者数は、持ち直しの動きが一服（７月）。
住宅建築			持家、貸家が前年比マイナスとなり、全体として弱めの動きとなっている（７月）。
公共工事			公共工事請負金額は、国、県からの発注が増加し、２ヶ月ぶりに前年比プラスとなるが、全体として弱めの動きとなっている（７月）。
倒　産			負債総額は３ヶ月連続で前年比マイナスとなるも、全体としては横ばい圏内で推移している（７月）。
生産活動			鉱工業生産指数は医薬品等の上昇もあり、２ヶ月連続で前月比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている（６月）。
輸　出			輸出額は４ヶ月連続で前年を上回るも、全体として横ばい圏内の動きとなっている。貿易バランスは 42 ヶ月連続の出超（７月）。
設備投資			2026 年度の設備投資計画額は、６年連続の前年比プラス（当研究所が８月に実施した「企業経営・設備投資動向調査」による）。

＊「景況判断」は、現在の水準を５段階の天気マーク（晴、晴一部曇、曇、曇一部雨、雨）で表示
「方向」は、前月からの基調としての変化方向（好転･不変･悪化）。好転･悪化における実線の矢印は、天気マークの変化を伴うもの、点線は天気マークが変化しないもの。

＜主要経済指標の動き＞（前年同月との比較）

	2025年						2026年						
	7月	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
有効求人倍率	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
所定外労働時間（製造業）	○	●	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	
百貨店・スーパー販売額	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	●
乗用車新車販売台数	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	○	○	○
新設住宅着工戸数	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	○	○	●
公共工事請負金額	●	●	○	●	●	○	○	○	●	○	○	●	○
企業倒産件数	●	●	○	●	○	●	○	○	—	●	○	○	○
鉱工業生産指数	●	●	○	○	●	●	●	●	○	●	●	○	
輸出額	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○

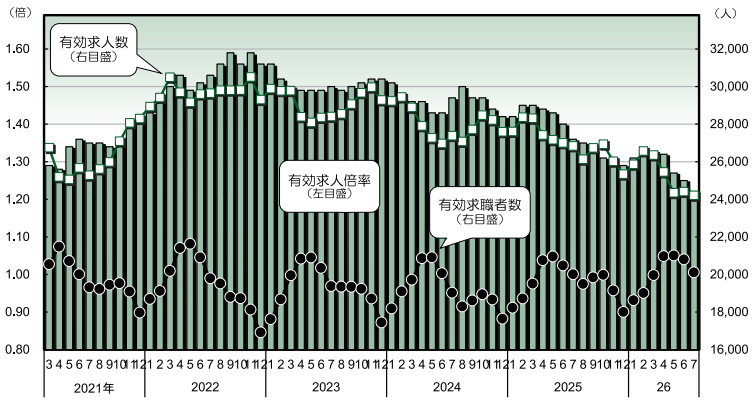
○：好転　●：悪化　－：横ばい

＊鉱工業生産指数は原指数、所定外労働時間は事業所規模５人以上、百貨店・スーパー販売額は全店舗、乗用車新車販売台数は軽乗用車含む、有効求人倍率は原数値

1 雇　用　有効求人倍率は３ヶ月連続で1.3倍未満、実質賃金は前年比プラスが継続

有効求人倍率（７月：前月比▲0.03ポイント、季節調整値）は1.22倍と３ヶ月連続で1.3倍未満となる。**新規求人数**（７月：前年比▲5.0%、パートを含む原数値）が15ヶ月連続の前年比マイナス。業種別にみると、運輸業、郵便業等で減少。**職安別の有効求人倍率**（７月、パートを含む原数値）をみると、下関が1.48倍で最も高く、岩国が0.94倍で最も低い水準。

有効求人倍率（有効求人数・有効求職者数）の推移



（資料）　厚生労働省 山口労働局　　＊ 有効求人倍率は季節調整値、有効求人数及び有効求職者数は原数値

有効求人倍率（2026年7月）

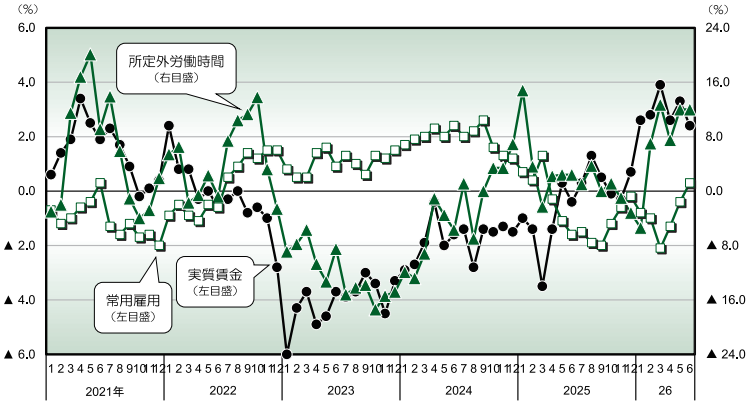
（単位：倍、ポイント）

	2026年7月	前年比		2026年7月	前年比
山　口	1.18	▲0.23	徳　山	1.31	▲0.09
下　関	1.48	▲0.06	下　松	1.21	+0.07
宇　部	1.27	▲0.18	岩　国	0.94	▲0.30
防　府	0.98	▲0.14	柳　井	1.00	▲0.07
萩	1.21	▲0.03	全　県	1.22	▲0.14

（資料）　厚生労働省 山口労働局
＊ 数値及び前年比は原数値（全県の数値は季節調整値）

実質賃金（６月：前年比＋2.4%、全業種・事業所規模５人以上）は７ヶ月連続で前年比プラス（名目賃金：同＋3.6%）。**所定外労働時間**（６月：同＋12.0%）、**常用雇用**（６月：同＋0.3%）ともに前年比プラス。

実質賃金・所定外労働時間・常用雇用指数の推移（前年比）



（資料） 山口県 総合企画部統計分析課　　＊ 全業種・事業所規模5人以上、 実質賃金はきまって支給する給与

実質（名目）賃金・所定外労働時間・常用雇用指数
（2026年6月、26年1-6月平均）　（単位：指数、%）

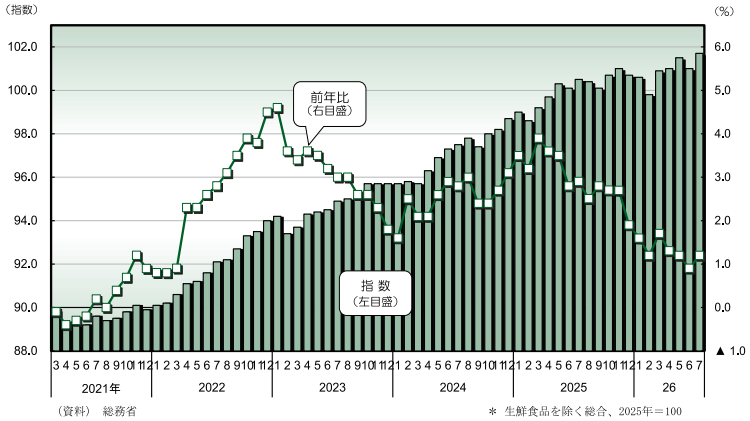
	2026年 6月	前年比	2026年 1-6月	前年比
名目賃金	113.0	+3.6	112.0	+4.0
実質賃金	98.3	+2.4	97.5	+2.8
所定外労働時間	101.1	+12.0	101.3	+7.4
常用雇用	101.2	+0.3	100.8	▲ 0.9

（資料）山口県 総合企画部統計分析課
＊全業種、事業所規模５人以上　名目・実質賃金はきまって支給する給与

2 物　価　生鮮食品を除く総合指数は59ヶ月連続の前年比プラス

消費者物価指数（生鮮食品除く）（７月：前年比＋1.2%）は 59 ヶ月連続で前年を上回り、依然高い水準を維持している。費目別では、米や野菜等が値上がりした「食料」（同＋3.5%）、「家具・家事用品」（同＋5.3%）等が前年比プラスとなった。

消費者物価指数（山口市）の推移



（資料） 総務省　　＊ 生鮮食品を除く総合、2025年＝100

消費者物価指数（2026年7月、26年1-7月平均）

（単位：指数、%）

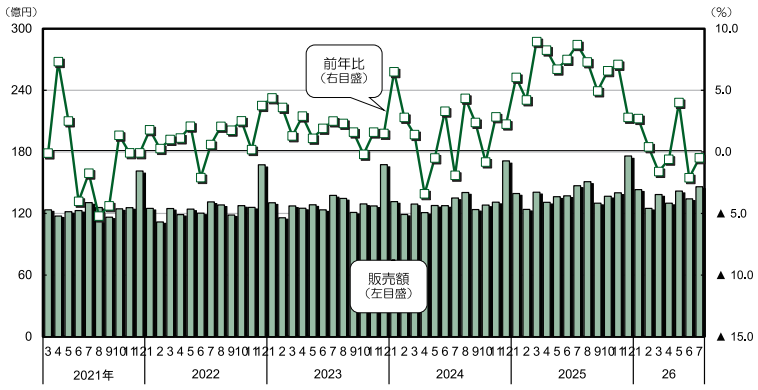
	2026年 7月	前年比	2026年 1-7月	前年比
食料	103.2	+3.5	102.4	+3.5
住居	100.4	+0.3	99.9	±0.0
光熱・水道	99.0	▲ 3.9	98.5	▲ 2.1
家具・家事用品	105.6	+5.3	101.8	+2.3
被服及び履物	97.9	▲ 2.5	98.9	▲ 1.3
保健医療	103.0	+2.4	101.4	+2.2
交通・通信	102.0	+2.1	101.1	+1.5
生鮮食品除く総合	101.7	+1.2	100.9	+1.3

（資料）総務省　　＊ 2020年＝100

3 消　費　百貨店・スーパー販売額は２ヶ月連続で前年比マイナス

百貨店･スーパー販売額（７月：前年比▲0.5%）は２ヶ月連続で前年を下回った。商品別にみると、**衣料品**（同▲2.3%）、**身の回り品**（同▲1.6%）、**飲食料品**（同▲1.8%）は前年比マイナスとなり、全体でも前年を下回る水準となった。

百貨店・スーパー販売額の推移



（資料）　中国経済産業局　　＊ 全店舗

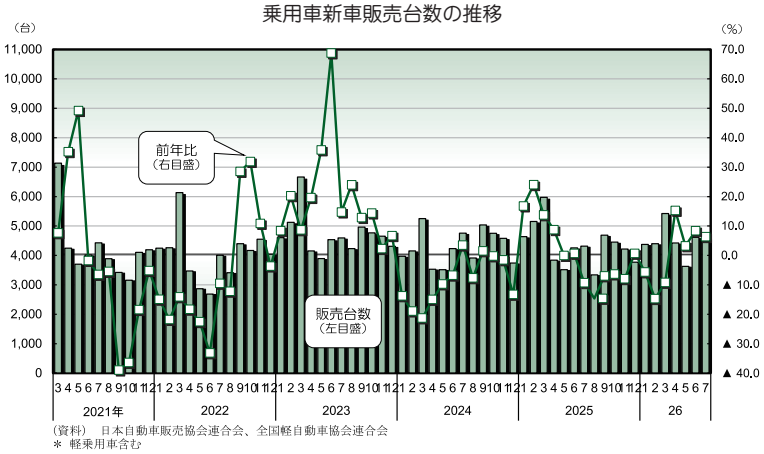
百貨店･スーパー販売額
（2026年7月、26年1-7月累計）　（単位：億円、%）

	2026年7月	前年比	2026年1-7月	前年比
衣　料　品	10	▲2.3	67	▲4.7
身の回り品	4	▲1.6	25	▲1.5
飲 食 料 品	110	▲1.8	729	+0.1
家 庭 用 品	8	+2.1	47	+4.8
そ　の　他	14	+11.0	87	+4.7
合　　計	146	▲0.5	958	+0.3

（資料）中国経済産業局　　＊ 全店舗

乗用車新車販売台数（軽乗用車含む）（７月：前年比+6.4%）は４ヶ月連続で前年比プラス。軽乗用車（同▲2.4%）は前年を下回るも、普通車（同+1.9%）、小型車（同+30.0%）はそれぞれ前年を上回った。**家電量販店販売額**（同+18.2%）は前年比プラスとなったが、**ドラッグストア販売額**（同▲1.6%）、**ホームセンター販売額**（同▲2.9%）、**コンビニエンスストア販売額**（同▲0.3%）は前年比マイナスとなった。

乗用車新車販売台数の推移



（資料）　日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会
＊ 軽乗用車含む

乗用車新車販売台数
（2026年7月、26年1-7月累計）　（単位：百台、%）

		2026年7月	前年比	2026年1-7月	前年比
乗用車	普　通　車	17	+1.9	117	▲0.9
	小　型　車	12	+30.0	74	+6.0
	軽乗用車	17	▲2.4	124	▲4.2
	合　　計	46	+6.4	315	▲0.7

（資料）日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

専門量販店等販売額
（2026年7月、26年1-7月累計）　（単位：億円、%）

	2026年7月	前年比	2026年1-7月	前年比
家 電 量 販 店	43	+18.2	263	+15.9
ホームセンター	30	▲2.9	193	▲2.2
ドラッグストア	90	▲1.6	595	+0.7
コンビニエンスストア	110	▲0.3	718	+0.4

（資料）経済産業省

4 観　光　主要観光施設の利用者･宿泊者数は持ち直しの動きが一服

主要観光施設利用者・宿泊者数（７月）をみると、**海響館**の来館者数（前年比全増）は前年比プラスとなったが、**錦帯橋**の渡橋者数（同▲ 11.1%）、**秋芳洞**の入洞者数（同▲ 2.4%）は前年比マイナスとなった。温泉地の宿泊者数については、**湯田温泉**の宿泊者数（同▲ 5.6%）は前年比プラスとなった。

観光施設利用者数（2026年7月、26年1-7月累計）

（単位：人、%）

	2026年7月	前年比	2026年1-7月	前年比
海　響　館	62,832	全増	358,058	全増
錦　帯　橋	30,844	▲ 11.1	314,248	▲ 2.0
秋　芳　洞	43,714	▲ 2.4	229,784	+4.7
松陰神社	—	—	172,467	+8.6

（資料）山口県 総合企画部統計分析課、萩市商工観光部観光課

旅館の宿泊者数（2026年7月、26年1-7月累計）

（単位：人、%）

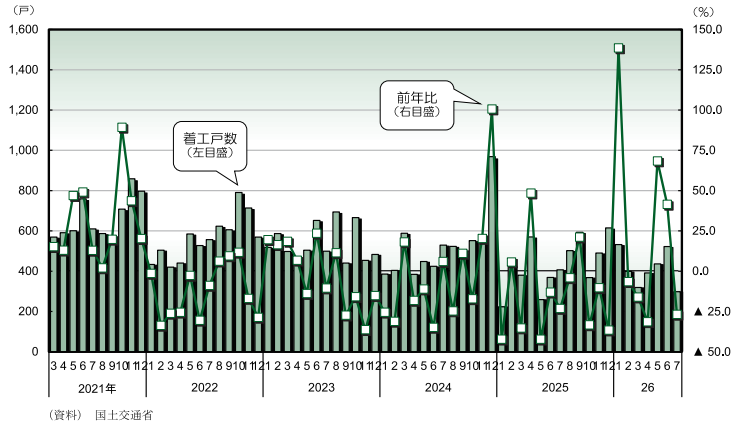
	2026年7月	前年比	2026年1-7月	前年比
湯田温泉	35,205	▲ 5.6	223,485	+6.6
湯本温泉	—	—	88,819	+2.5

（資料）山口県 総合企画部統計分析課
＊温泉旅館組合加盟旅館の宿泊者数（修学旅行生を含む）
＊海響館は 2024 年 12 月～ 2025 年 7 月は改装のため休館
＊湯田温泉は令和８年３月までは 12 施設の集計で令和８年４月以降は 16 施設の集計

5 建　設　住宅建築は３ヶ月ぶりに前年比マイナスで、公共工事は前年比プラス

新設住宅着工戸数（７月：前年比▲ 26.8%）は３ヶ月ぶりに前年比マイナス。利用関係別では、分譲（同＋10.0%）は前年比プラスとなったが、持家（同▲ 0.5%）、貸家（同▲ 76.0%）は前年比マイナスとなった。

新設住宅着工戸数の推移



（資料）　国土交通省

新設住宅着工戸数（2026年7月、26年1-7月累計）

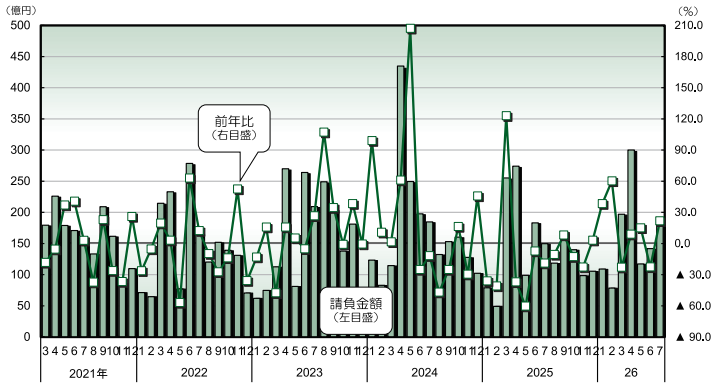
（単位：戸、%）

		2026年7月	前年比	2026年1-7月	前年比
持　家		207	▲ 0.5	1,454	+10.9
貸　家		35	▲ 76.0	918	+6.4
給　与		1	▲ 66.7	6	▲ 40.0
分　譲		55	+10.0	519	+15.1
	マンション	0	±0.0	118	▲ 10.6
合　計		298	▲ 26.8	2,897	+9.9

（資料）国土交通省
＊ 給与は社宅や官舎等

公共工事請負金額（７月：前年比＋21.8%）は２ヶ月ぶりに前年比プラス。発注者別では、国（同＋2.4 倍）、県（同＋35.4%）は前年比プラスとなるが、市町（同▲ 1.3%）は前年比マイナスとなる。請負総額２億円以上の大型工事は、件数が 14 件（同＋７件）、対象額が約 45 億円（同＋29 億円）と前年比プラスとなる。

公共工事請負金額の推移



（資料） 西日本建設業保証㈱

公共工事請負金額（2026年7月、2025年度）

（単位：億円、%）

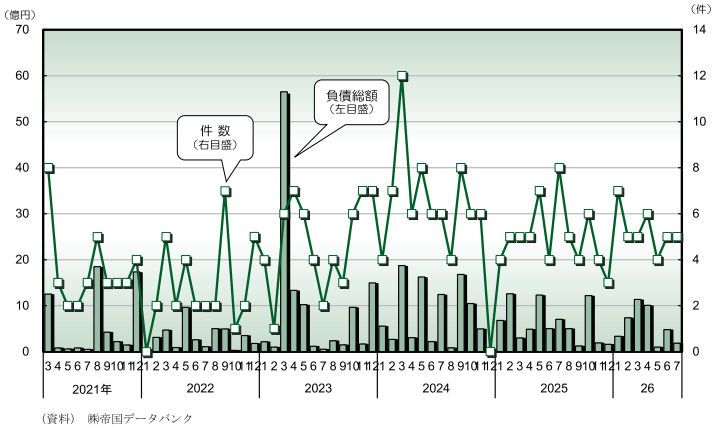
	2026年7月	前年比	2025年度	前年比
国	30	2.4倍	311	▲ 0.1
独立行政法人等	2	▲ 47.1	82	▲ 52.7
県	81	+35.4	573	+1.2
市町	68	▲ 1.3	659	▲ 35.1
その他の公共的団体	1	▲ 75.8	77	+35.2
合計	182	+21.8	1,702	▲ 19.9

（資料）西日本建設業保証㈱

6 倒 産 負債総額は３ヶ月連続で前年比マイナスとなる

企業倒産（７月）は、**件数**が５件（前月比±0 件、前年比▲３件）で、**負債総額**は１億９千万円（前月比▲３億円、前年比▲５億２千万円）となり、３ヶ月連続で前年比マイナスとなる。**代位弁済**（７月）は、**件数**（前年比▲ 33.3%）、**金額**（同▲ 73.2%）ともに前年比マイナスとなった。

企業倒産件数・負債総額の推移



（資料） ㈱帝国データバンク

企業倒産件数･負債総額
（2026年7月､26年1-7月累計）

（単位：件・億円、%）

	2026年7月	前年比	2026年1-7月	前年比
件数	5	▲ 37.5	37	▲ 2.6
負債総額	2	▲ 73.7	40	▲ 22.9

（資料）㈱帝国データバンク

代位弁済件数･金額
（2026年7月､2025年度累計）

（単位：件・億円、%）

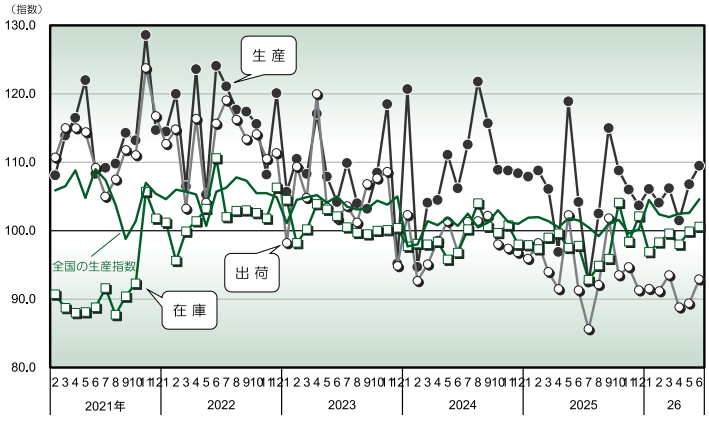
	2026 7月	前年比	2025年度 累計	前年比
件数	16	▲ 33.3	396	+8.8
金額	0	▲ 73.2	39	+7.3

（資料）山口県信用保証協会

7 生　産　鉱工業生産指数は２ヶ月連続で前月比プラス

鉱工業生産指数（季節調整値）（６月：前月比＋2.5%）は 109.5 で２ヶ月連続の前月比プラスで、前年比も＋6.8%と２ヶ月ぶりにプラスとなる。**出荷指数**（同）（６月：同＋3.9%）は 92.9 で２ヶ月連続の前月比プラス。**在庫指数**（同）（６月：同＋0.7%）は 100.6 で２ヶ月連続の前月比プラスとなる。

鉱工業指数の推移



（資料）　山口県 総合企画部統計分析課、経済産業省　　＊ 季節調整値　山口県、全国2020年＝100

鉱工業指数（2026年6月、26年1-6月平均）

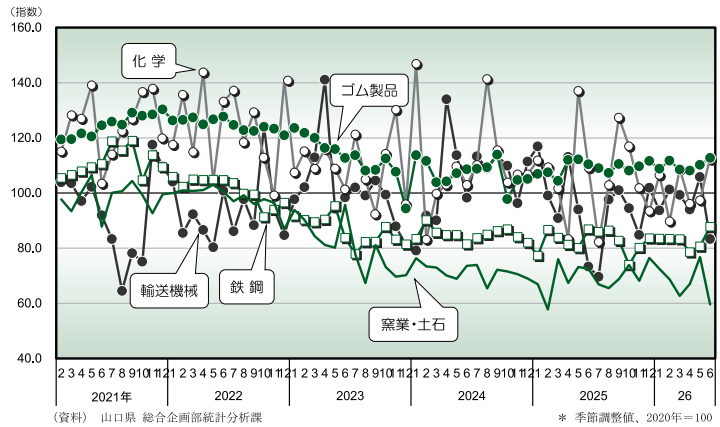
（単位：指数、%）

		2026年6月	前年比	2026年1-6月	前年比
生産	山口県	109.5	+6.8	105.7	▲ 1.5
	全　国	104.6	+4.9	103.1	+1.5
出荷	山口県	92.9	+3.5	91.2	▲ 4.7
	全　国	101.3	+2.9	101.0	+1.1
在庫	山口県	100.6	+2.9	98.9	+0.7
	全　国	97.6	▲ 2.2	96.8	▲ 4.2

（資料）山口県 総合企画部統計分析課、経済産業省
＊指数は季節調整値、前年比は原数値
（山口県、全国 2020 年＝100）

業種別に指数（季節調整値、2020 年＝100）の推移をみると、**鉄鋼**（前月比＋8.8%）、**化学**（同＋15.8%）は前月比プラスとなるが、**輸送機械**（同▲ 21.3%）、**窯業・土石**（同▲ 22.4%）は前年比マイナスとなる。品目別にみると化学では医薬品（同＋10.4%）等の生産が上昇した。

鉱工業生産指数の推移（業種別）



（資料）　山口県 総合企画部統計分析課　　＊ 季節調整値、2020年＝100

鉱工業生産指数
（業種別：2026年6月、26年1-6月平均）

（単位：指数、%）

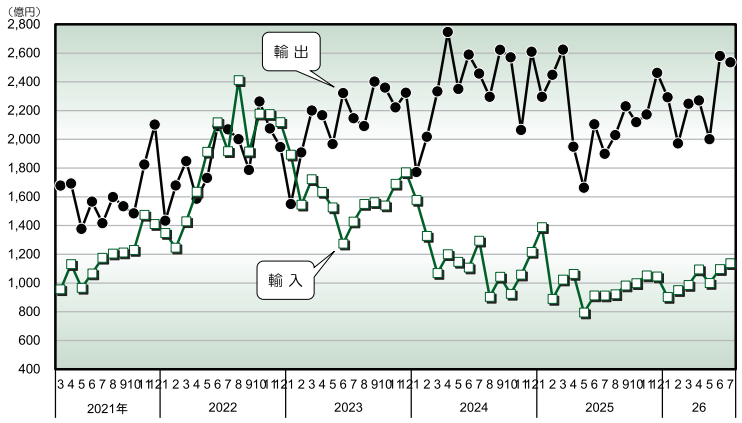
	2026年6月	前年比	2026年1-6月	前年比
鉄　鋼	87.8	+4.3	82.9	+0.5
輸送機械	83.3	+7.5	95.6	▲ 1.2
窯業･土石	59.6	▲ 14.2	71.6	▲ 1.3
化　学	112.8	+6.2	101.4	▲ 6.6
ゴム製品	112.7	+2.6	110.1	+1.3

（資料）山口県 総合企画部統計分析課
＊指数は季節調整値、前年比は原数値（2020 年＝100）

8 貿　易　輸出額は４ケ月連続で前年比プラス、貿易バランスは 42 カ月連続の出超

輸出額（７月：前年比＋33.5%）は４ヶ月連続で前年比プラス。アメリカ、中国、韓国への半導体等製造装置が増加した下関港、米国への輸送用機器が増加した防府港で前年を上回った。**輸入額**（７月：同＋24.8%）は４ヶ月連続で前年比プラス。オーストラリアからの石炭等が増加した宇部港等で前年比プラスとなった。なお、**貿易バランス（輸出額－輸入額）**（７月：＋1,397 億円）は 42 ヶ月連続の出超。

貿易額（輸出・輸入額）の推移



（資料）　財務省

貿易額（2026年7月）

（単位：億円、%）

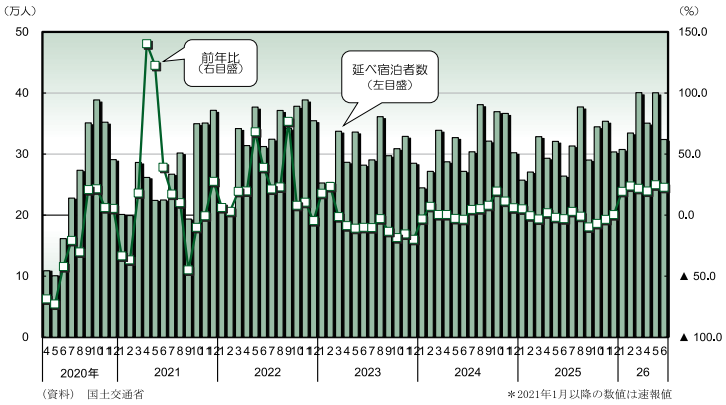
	輸出額	前年比	輸入額	前年比
下　関	1,017	+25.6	245	+9.6
宇　部	44	▲ 5.1	99	+35.7
徳　山	348	+14.7	499	+21.4
防　府	911	+34.6	127	+35.5
岩　国	210	3.7倍	167	+51.8
合　計	2,535	+33.5	1,138	+24.8

（資料）門司税関

トピックス　1～6月の県内の延べ宿泊者数、外国人宿泊者数（速報値）は前年比増加

国土交通省（観光庁）の宿泊旅行統計調査によると、山口県における今年６月の延べ宿泊者数（速報値ベース）は、約 32 万人で前年比 22.8%増加（全国：▲ 8.4%）。2025 年は前年を下回る結果（前年比▲ 1.8%）となったが、2026 年は前年を上回る推移となっている。また、同月の外国人の延べ宿泊者数についても、約 16 千人で同 39.6%増加（全国：▲ 14.0%）と、前年を上回る推移となっている。

山口県内宿泊施設の延べ宿泊者数の推移



（資料）　国土交通省　　＊2021年1月以降の数値は速報値

延べ宿泊者数
（2026年6月、1-6月累計）

（単位：人、%）

	2026年 6月	前年比	2026年 1-6月	前年比
延べ宿泊者数	323,880	+22.8	2,117,670	+22.1
うち外国人	16,190	+39.6	106,840	+23.4

（資料）国土交通省
＊ 2026年6月の宿泊施設数は合計445

広島県内経済の動き

広島県内景気は、緩やかな回復基調にある

現 状

新設住宅着工戸数は２ヶ月ぶりに前年比プラスとなるが、全体として弱めの動き。生産活動は鉱工業生産指数が３ヶ月ぶりに前月比マイナスとなるが、全体としては緩やかに持ち直しているほか、輸出額は６ヶ月連続で前年比プラス。雇用情勢が緩やかに改善する下で、個人消費は物価上昇の影響を受けながらも緩やかに回復するなど、県内景気全体としては緩やかな回復基調にある。

先行き

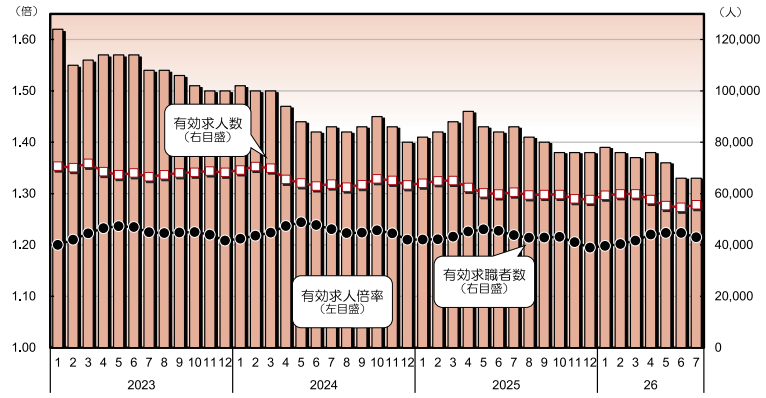
昨今の物価上昇に伴う企業収益や消費行動への影響に加え、中東情勢の不安定化による原油高等の経済的影響を注視する必要があるものの、企業収益の先行きは不透明であるため、天気マークは「曇」のままとした。

	景況判断	方向	コメント
雇用情勢			有効求人倍率が 1.33 倍と高水準を維持するなど、緩やかに改善している（７月）。
個人消費			百貨店・スーパー販売額が２ヶ月ぶりに前年比プラスで、全体としては緩やかな回復基調にある（７月）。
住宅建築			新設住宅着工戸数は２ヶ月ぶりに前年比プラスとなるが、全体として弱めの動きとなっている（７月）。
公共工事			公共工事請負金額は２ヶ月連続で前年比プラスとなり、全体として緩やかに増加している（７月）。
生産活動			鉱工業生産指数は３ヶ月ぶりに前月比マイナスとなるが、全体として緩やかに持ち直している（６月）。
輸　出			輸出額は６ヶ月連続で前年比プラスとなり、全体として緩やかに持ち直している（７月）。
倒　産			負債総額は３ヶ月連続で前年比マイナスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている（７月）。

＊「景況判断」および「方向」は、山口県同様、５段階の天気マーク（晴、晴一部曇、曇、曇一部雨、雨）と前月からの基調としての変化方向（好転・不変・悪化）で表示

1 雇　用　有効求人倍率は1．33倍と高水準を維持（7月：前月比±0.00P　季節調整値）

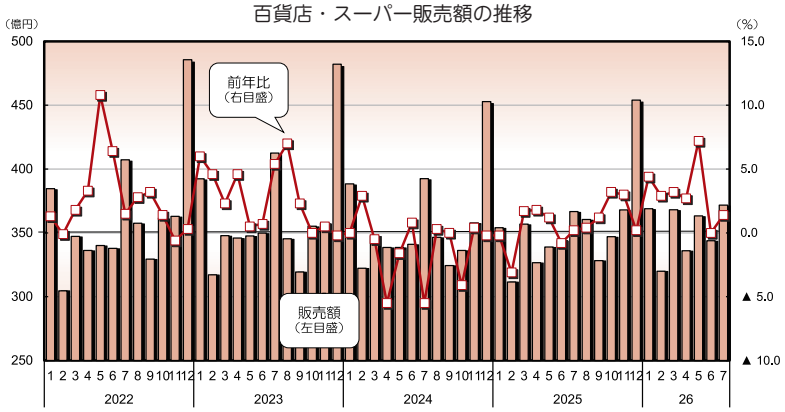
有効求人倍率（有効求人数・有効求職者数）の推移



（資料）　厚生労働省 広島労働局　　＊ 有効求人倍率は季節調整値、有効求人数及び有効求職者数は原数値

2 消　費　百貨店・スーパー販売額は2ヶ月ぶりに前年比プラス（7月：前年比＋1.4%）

百貨店・スーパー販売額の推移

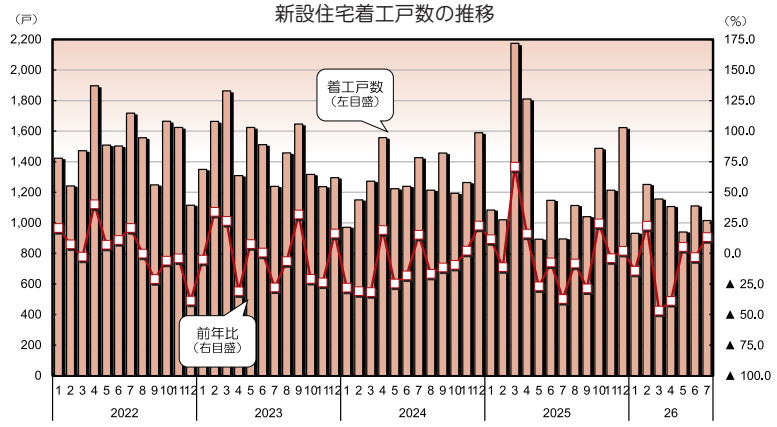


（資料）　経済産業省　　＊ 全店舗

3 建　設（住宅）　新設住宅着工戸数は2ヶ月ぶりに前年比プラス（7月：前年比＋13.4%）

（持家：同＋1.2%　　貸家：同＋29.7%　　分譲：同＋3.7%）

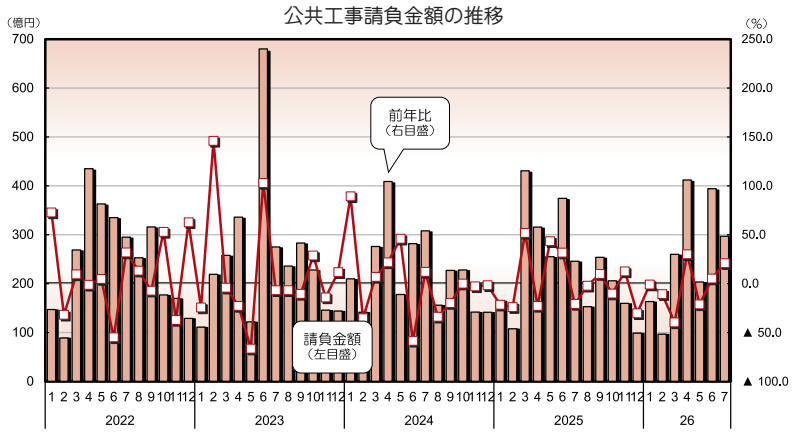
新設住宅着工戸数の推移



（資料）　国土交通省

4 建　設（公共工事）

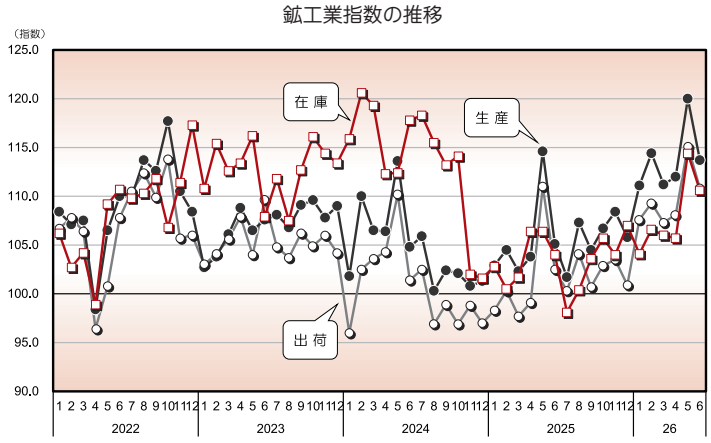
公共工事請負金額は２ヶ月連続で前年比プラス（７月：前年比＋20.9%）



（資料）　西日本建設業保証株式会社

5 生　産

鉱工業生産指数は３ヶ月ぶりに前月比マイナス（6月：前月比▲5.3% 季節調整値）

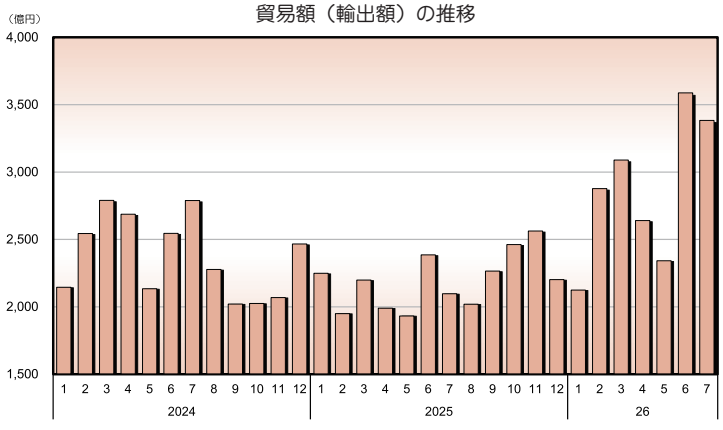


鉱工業生産指数
自動車：前月比▲12.4%

（資料）　広島県総務局統計課　　＊ 季節調整値　広島県2020年＝100

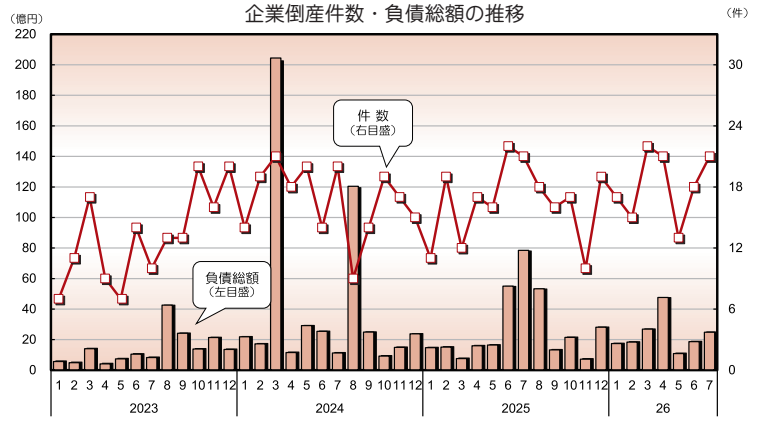
6 輸　出

輸出額は６ヶ月連続で前年比プラス（７月：前年比＋61.3%）



（資料）　財務省

7 倒　産　負債総額は３ヶ月連続で前年比マイナス（7月：前年比▲68.4%）



（資料）　㈱帝国データバンク

福岡県内経済の動き

福岡県内景気は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに回復している

現　状

生産は３ヶ月連続で前月比マイナスとなるが、輸出額は８ヶ月連続の前年比プラス。新設住宅着工戸数は横ばい圏内となるが、個人消費は百貨店・スーパー販売額が７ヶ月連続で前年比プラスとなり、全体として底堅く推移している。県内景気は一部で弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。

先行き

昨今の物価上昇に伴う企業収益や消費行動への影響に加え、中東情勢の不安定化による原油高等の経済的影響を注視する必要があるものの、企業収益の先行きは不透明であるため、天気マークは「曇」のままとした。

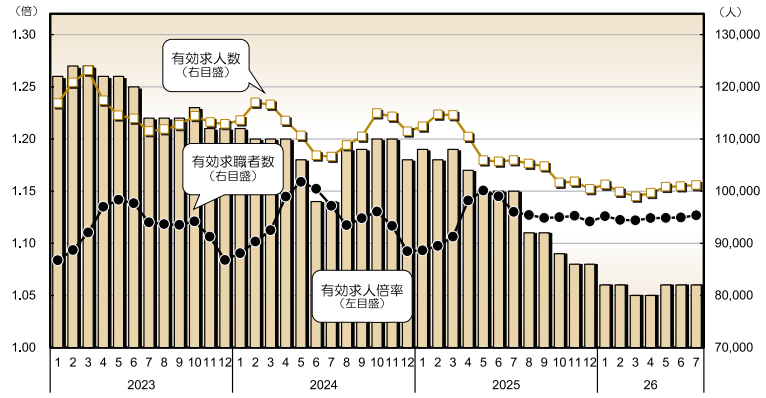
	景況判断	方向	コメント
雇用情勢		→	有効求人倍率は 1.06 倍と前月比同水準で、全体としては緩やかに改善している（７月）。
個人消費		↗	百貨店・スーパー販売額は７ヶ月連続で前年比プラスとなり、全体として底堅く推移している（７月）。
住宅建築		→	新設住宅着工戸数は４ヶ月連続で前年比プラスとなるが、総じて横ばい圏内で推移している（７月）。
公共工事		→	公共工事請負金額は５ヶ月ぶりに前年比マイナスとなるが、全体として横ばい圏内の動き（７月）。
生産活動		↘	鉱工業生産指数は３ヶ月連続で前月比マイナスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている（６月）。
輸　　出		→	輸出額は８ヶ月連続で前年比プラスとなるが、総じて横ばい圏内で推移している（７月）。
倒　　産		↗	負債総額は３ヶ月連続で前年比マイナスとなるが、全体として横ばい圏内で推移している（７月）。

＊「景況判断」および「方向」は、山口県同様、５段階の天気マーク（晴、晴一部曇、曇、曇一部雨、雨）と前月からの基調としての変化方向（好転・不変・悪化）で表示

1 雇　用

有効求人倍率は1.06倍と前月比同水準（7月：前月比±0.00P季節調整値）

有効求人倍率（有効求人数・有効求職者数）の推移

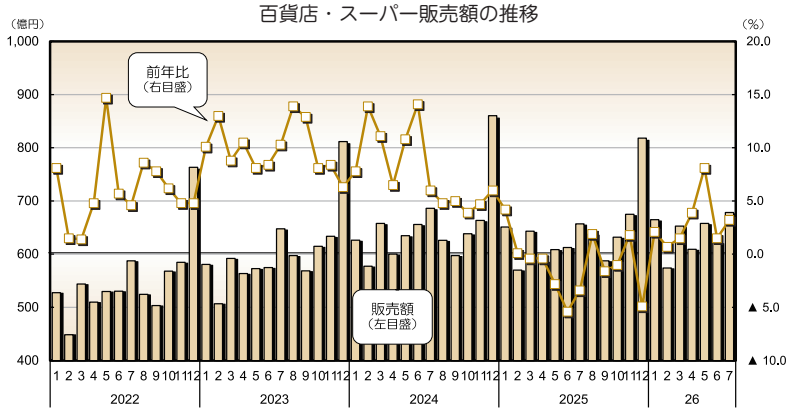


（資料）　厚生労働省 福岡労働局　　＊ 有効求人倍率は季節調整値、有効求人数及び有効求職者数は原数値

2 消　費

百貨店･スーパー販売額は7ヶ月連続で前年比プラス（7月：前年比＋3.2%）

百貨店・スーパー販売額の推移

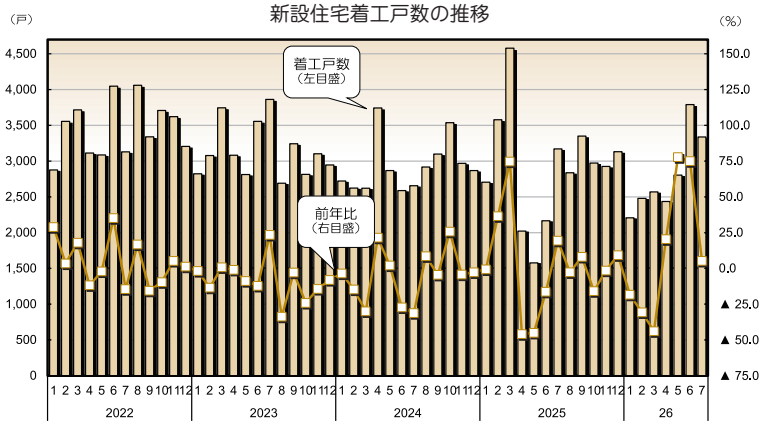


（資料）　経済産業省　　＊ 全店舗

3 建　設（住宅）

新設住宅着工戸数は4ヶ月連続で前年比プラス（7月：前年比＋5.3%）
（持家：同▲9.7%　　貸家：同▲8.6%　　分譲：同＋55.4%）

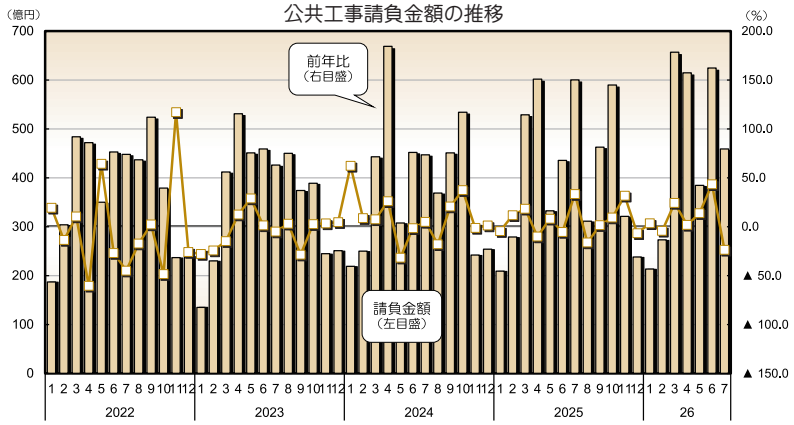
新設住宅着工戸数の推移



（資料）　国土交通省

4 建　設（公共工事）

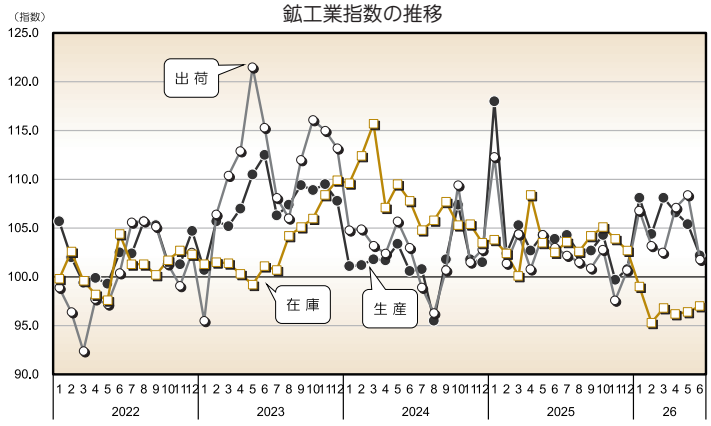
公共工事請負金額は５ヶ月ぶりに前年比マイナス（７月：前年比▲23.5%）



（資料）　西日本建設業保証株式会社

5 生　産

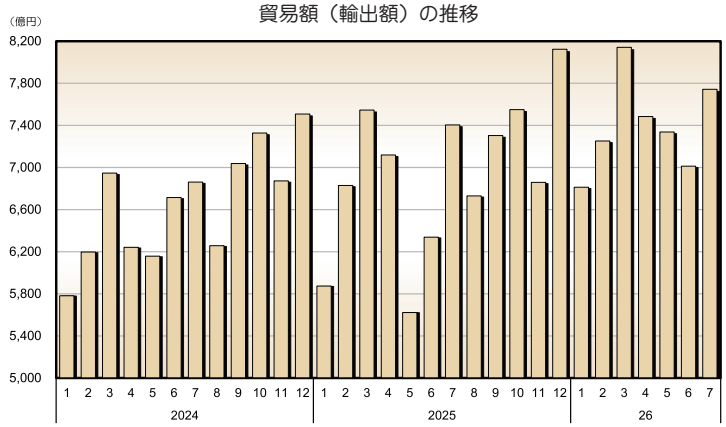
鉱工業生産指数は３カ月連続で前月比マイナス（６月：前月比▲3.0% 季節調整値）



（資料）　福岡県調査統計課、経済産業省　　＊ 季節調整値　福岡県2020年＝100

6 輸　出

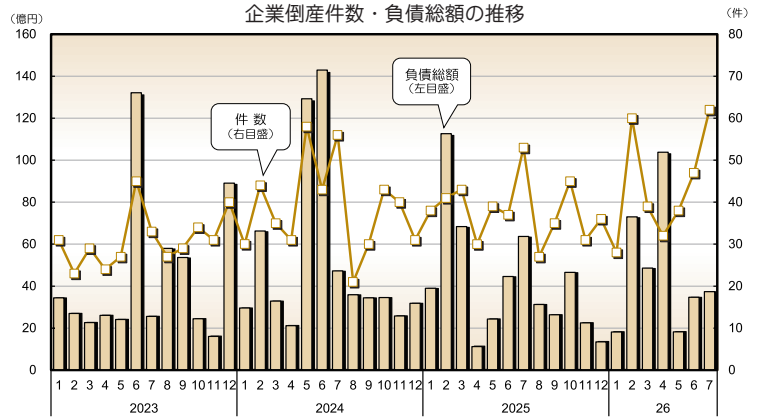
輸出額は８ヶ月連続で前年比プラス（７月：前年比＋4.6%）



（資料）　財務省

7 倒　産　負債総額は３ヶ月連続で前年比マイナス（7月：前年比▲41.3%）

企業倒産件数・負債総額の推移



（資料）　㈱帝国データバンク